



歴民だより

第20号(平成30年2月)

発行：新座市立歴史民俗資料館
片山一丁目21番25号
電話 048-481-0177
FAX 048-481-0149
Eメール rekimin@city.niiza.lg.jp

毎年1月から2月は、市内小学校3年生の社会科見学のシーズンです。

今年は特にインフルエンザが猛威をふるいましたが、子どもたちは元気いっぱい！

教科書で写真しか見たことがない「昔の暮らし」の道具の数々に興味津々。

現代っ子らしく、思いもよらない質問も多く私たちも子どもたちから学ばせていただきました。



♪文化の日特別講座を開催しました



去る平成29年11月3日の「文化の日」、中央公民館講義室において、恒例の歴史講談「知恵伊豆・松平信綱と野火止用水」を開催しました。宮瀧先生のユーモアを交えた講義、そして神田師匠のパワフルな楽しい講談に一同大満足！

講談を通じて郷土の歴史を楽しく学ぶことができ、「芸術の秋」に相応しい秋のひとつときを過ごしました。

歴史でお花見！



(好評につき、今年も開催します)

片山の隠れた桜の名所、歴史民俗資料館の桜(樹齢約40年!)の花を愛でながら、のんびりとした憩いのひとときをお楽しみください。

【日時】4月7日(土):午後1時~6時

【会場】園庭及び展示室

【内容】呈茶、琴と尺八の演奏など

演奏協力 新座三曲会 高須和子社中

呈茶協力 茶道表千家 南沢文子社中 新井田紀久子社中

茶道裏千家 山崎糧平さん

大日本茶道協会 氏家彰さん

※詳細については「広報ニイザ」4月号をご覧ください。

身近なスポット ~清戸道を訪ねて~

近年「道」を探求するのが流行っているようで、資料館にも「道」とりわけ「清戸道」に関するお問い合わせが多く寄せられています。

さて、その「清戸道」……。読んで字のごとく東京都清瀬市の清戸に通じる道で、歴史の表舞台に登場するのは江戸時代に入ってからと伝えられる比較的新しい「道」です。

起点は江戸川橋(現在の文京区関口付近)。

おおよそ5~6里(約20~24キロ)を経て清戸に至るとされていますが、起点から終点に至るルートは諸説ありいまだに定まっていません。

徒歩でも一日で往復できる距離であることから、農家の方は早朝に清戸を出発して江戸へ農作物を売りに行き、帰路は肥料として使う下肥を町家で汲みとって清戸に帰ったと云われています。

その「清戸道」の名残である明治期の標柱が歴史民俗資料館の近くに現在も残っています。

資料館から1分もかかりませんので、お越しの際は是非ご覧ください。

もはや古道の面影はありませんが、標柱に刻まれた「清戸道」の文字に重い荷物を抱え往復48キロの行程を踏破した往時の人々の健脚ぶりを重ね、思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

